

松嶋夜話 卷之下 77

〔原文〕余近年住山太守入福浦消遣

〔訓読〕余近年山に住み、太守福浦に入りて消遣す

※消遣…心の憂さを消し去ること。うさばらし。「一の具」

〔原文〕命画師画洞祖坐禪石之樣體

〔訓読〕画視に命じて、洞祖坐禪の樣體を画かしめ

〔原文〕乞贊山僧置于福浦

〔訓読〕贊を山僧に乞ひて、福浦に置かしむ

〔原文〕此島前面有經島

〔訓読〕此の島の前面に經島有り

〔原文〕昔日見佛上人所納書寫法華也

〔訓読〕昔日、見佛上人の書寫の法華を納むる所なり

〔原文〕于今有經墳

〔訓読〕今に經墳有り

〔原文〕又近年立一丈三尺五層石輪塔

〔訓読〕又近年、一丈三尺五層の石輪塔を立つ

〔原文〕稱授戒萬人塔鎮此島

〔訓読〕授戒の萬人の塔と稱し、此の島を鎮す

〔原文〕從是山之人多埋書寫石經

〔訓読〕是より山の人、多く書寫の石經を埋め

〔原文〕又丁經島東有辯天島

〔訓読〕又經島の東に丁って、辯天島有る

〔原文〕原名朝日島

〔訓読〕原の名は朝日島

〔原文〕寛文十年洞水祖翁花園三輪篆幹蟲歸國

〔訓読〕寛文十年、洞水祖翁、花園三輪篆、蟲を幹して歸國す

※花園三輪篆…よくわかりません

※幹…なんて訓読するのかよくわかりません

〔原文〕依迂路測鎌倉興禪寺

〔訓読〕依りて路を迂て鎌倉の興禪寺に測(たど)る

〔原文〕此日勸請江島辯才天來

〔訓読〕此日、江島の辯才天を勸請して來たる

〔原文〕祭朝月山云

〔訓読〕朝日山に祭りて云ふ

〔原文〕島奥嶺峻拜瞻者疏矣

〔訓読〕島奥、嶺峻として拜瞻する者疏なり

※「奥」の下に「カリ」とありますが、どう訓読するのかよくわかりません